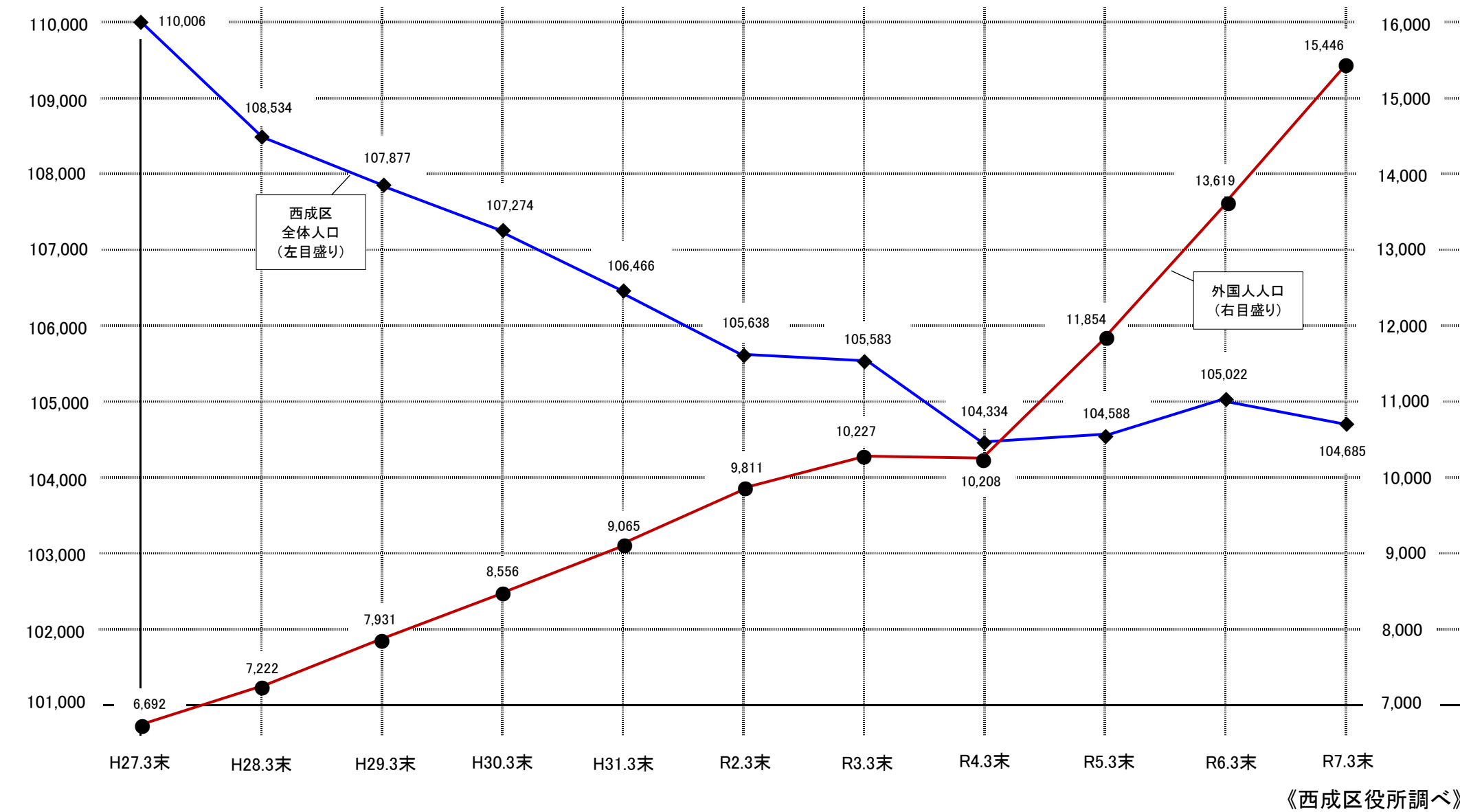


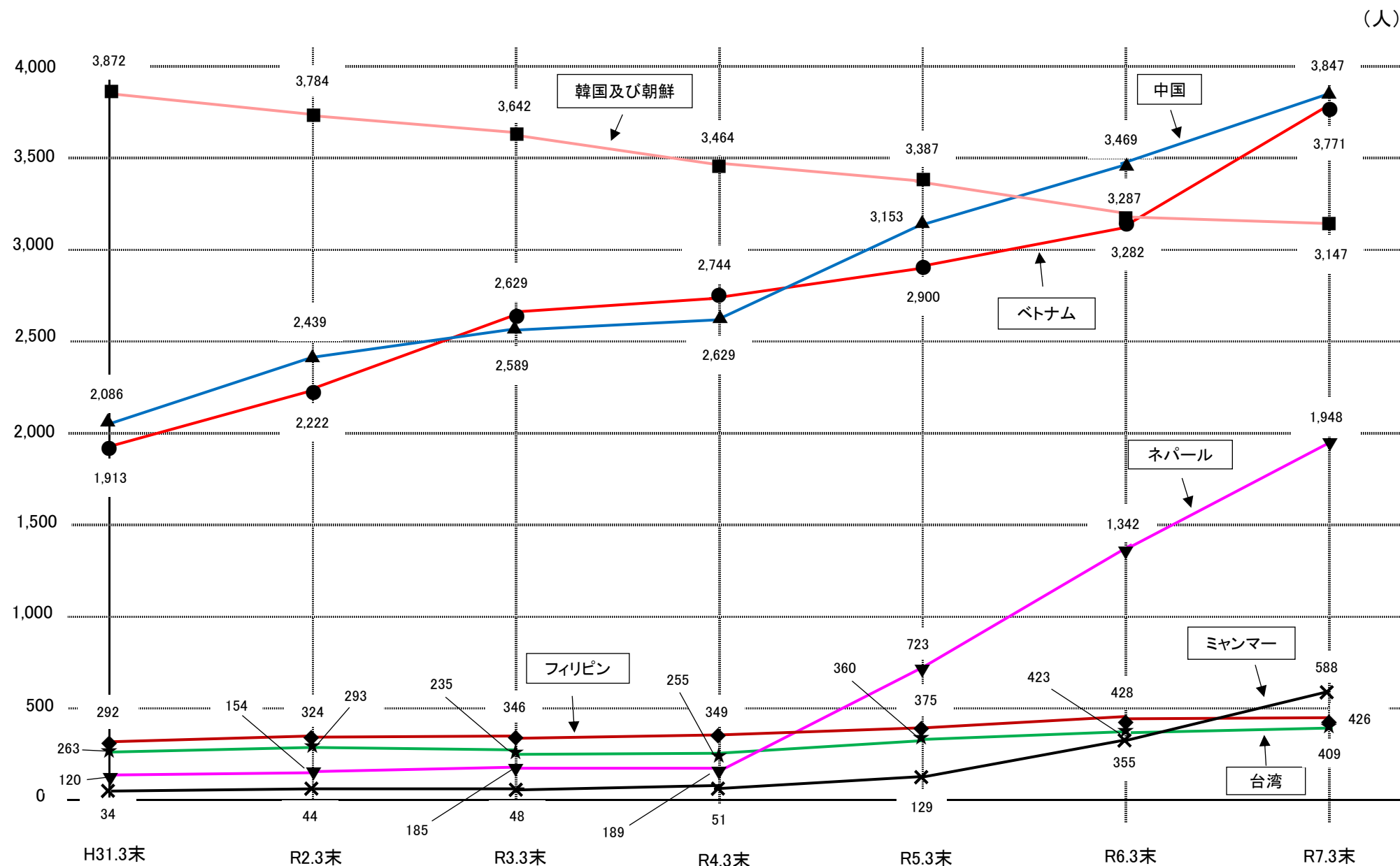
住民基本台帳による西成区全体人口の推移、及び、外国人人口の推移【平成27年3月末～令和7年3月末】 (人)



【分析結果】 ※H27.3末とR7.3末との対比

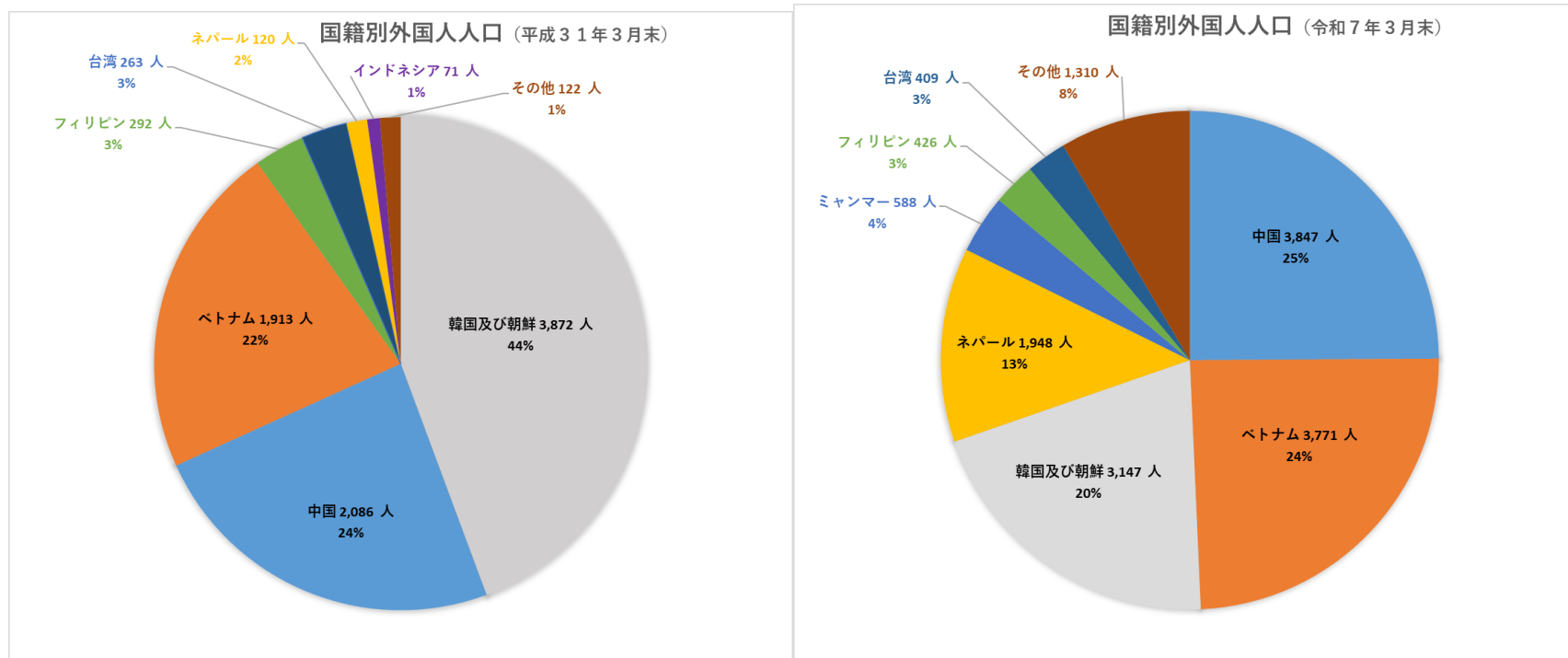
- ・外国人人口の増加傾向が大きい(約2.3倍)
- ・減少率95.2%(110,006人⇒104,685人)の漸減傾向にある
- ・直近5年間(R2.3末-R7.3末)では概ね105,000人前後でほぼ横ばい(99.1%)状態にある

西成区における国籍別外国人人口の推移【平成31年3月末～令和7年3月末】



《西成区役所調べ》

西成区における国籍別外国人人口【平成 31 年3月末と令和7年3月末との対比】



《西成区役所調べ》

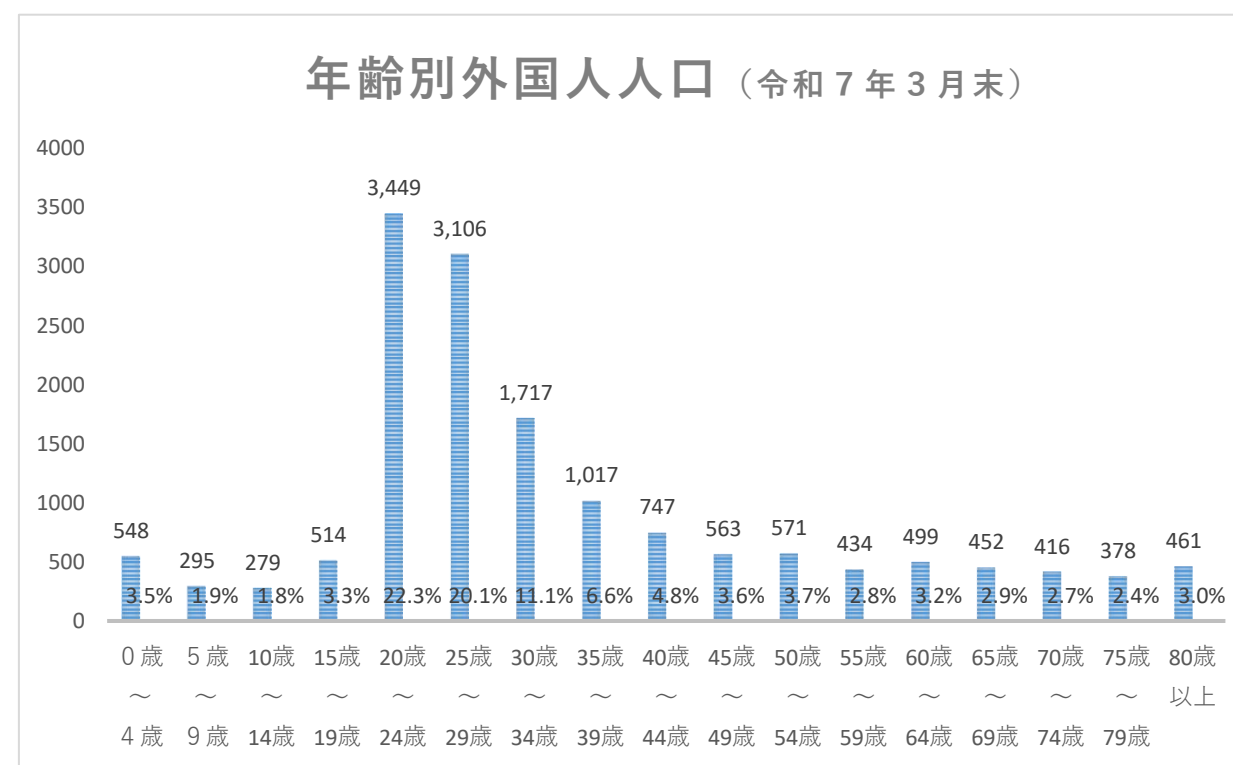
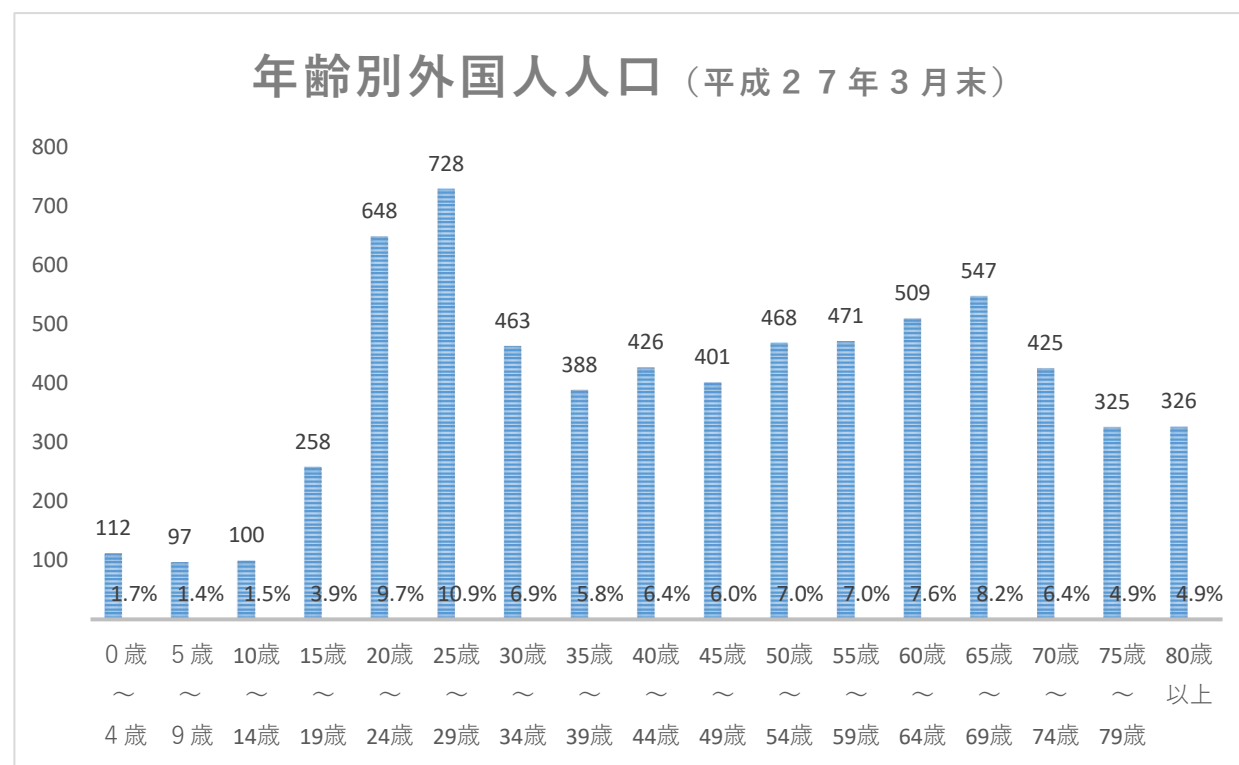
【分析結果(人数の観点)】

- ・中国(約 1.8 倍)、ベトナム(約 2 倍)の増加傾向が大きい
- ・韓国及び朝鮮は、漸減傾向にある(約 0.8 倍)
- ・ネパール(約 16 倍)、ミャンマー(約 17.3 倍)が急増している
- ・フィリピン(約 1.5 倍)、台湾(約 1.6 倍)は漸増傾向にある

【分析結果(構成比率の観点)】

- ・韓国及び朝鮮、中国、ベトナム、ネパールの占める比率が大きい(92% ⇒ 82%)
- ・韓国及び朝鮮の比率がほぼ半減している(44% ⇒ 20%)
- ・ネパール(2% ⇒ 13%)、ミャンマー(0.4% ⇒ 4%)の比率が急増している
- ・フィリピン、台湾の比率はほぼ横ばい(約 3%)

西成区における年齢別（５歳刻み）外国人人口 【平成27年３月末と令和７年３月末との対比】



《西成区役所調べ》

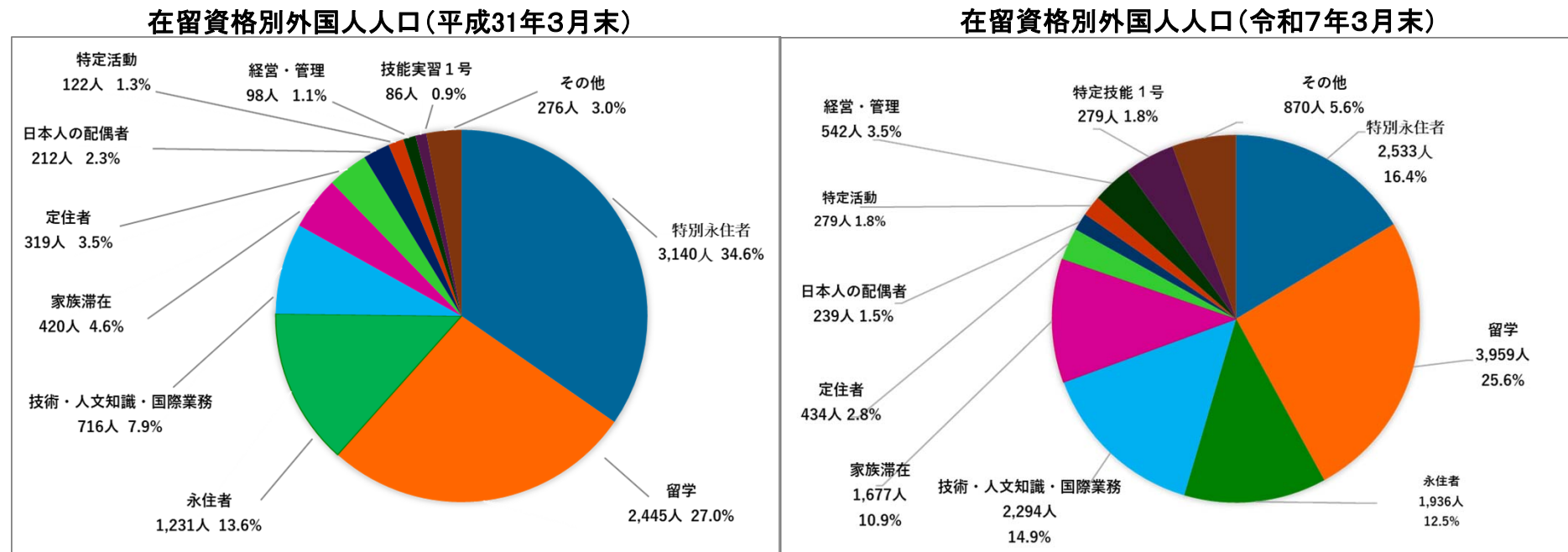
【分析結果（人数の観点）】

- ・ ①20歳～24歳（＋2,801人）、②25歳～29歳（＋2,378人）、③30歳～34歳（＋1,254人）の順に増加傾向が大きい
⇒上記①、②、③で計6,433人増加している
⇒上記①、②で計5,179人増加している
- ・ ④65歳～69歳（▲ 95人）、⑤55歳～59歳（▲ 37人）、⑥60歳～64歳（▲ 10人）、⑦70歳～74歳（▲ 9人）の順に減少している
⇒上記④、⑤、⑥、⑦で計▲ 151人減少している

【分析結果（構成比率の観点）】

- ・ ①20歳～24歳、②25歳～29歳、③30歳～34歳の合計比率がほぼ倍増（27.5% ⇒ 53.5%）
- ・ ①20歳～24歳、②25歳～29歳の合計比率が倍以上増加（20.0% ⇒ 42.4%）
- ・ ④65歳～69歳、⑤55歳～59歳、⑥60歳～64歳、⑦70歳～74歳の合計比率が約2.5倍減少（29.2% ⇒ 11.6%）

西成区における在留資格別外国人人口【平成31年3月末と令和7年3月末との対比】



《西成区役所調べ》

【分析結果(平成31年3月末)】

- ・①特別永住者(3,140人)、②留学(2,445人)、③永住者(1,231人)、④技術・人文知識・国際業務(716人)、⑤家族滞在(420人)の順に多い
- ・上記①～⑤の合計で7,952人 ⇒ 占有率87.7%
- ・上記①～③の合計で6,816人 ⇒ 占有率75.2%
- ・特別永住者が、全体の約1/3を占める

【分析結果(令和7年3月末)】

- ・①留学(3,959人)、②特別永住者(2,533人)、③技術・人文知識・国際業務(2,294人)、④永住者(1,936人)、⑤家族滞在(1,677人)の順に多い
- ・平成31年3月末の人口数との対比では、①技術・人文知識・国際業務(+1,578人)、②留学(+1,514人)、③家族滞在(+1,257人)の順に大きく増加している。一方、特別永住者は減少(▲607人)している。